



NPO法人 北摂子ども文化協会
Hokusetsu Children Culture Association

VOL.
40

ハックルベリー

Huckle Berry

●北摂子ども文化協会事務局
〒563-0024 池田市鉢塚3丁目4番13号
TEL:072-761-9245 FAX:072-761-9244
hokusetsukodomo@wombat.zaq.ne.jp

●北摂子ども文化協会豊能事務所
〒563-0101 豊能郡豊能町吉川336-1
TEL:072-738-3435

●北摂子ども文化協会西天満事務所
〒530-0047 北区西天満3-8-4朝日プラザ西天満101
TEL:06-6948-5380

Home Page URL <http://hokusetsukodomo.com/> ※検索サイトからは、「北摂子ども」で検索！



2013年6月9日 太鼓塾一輝 花菖蒲まつり出演

もくじ

サッカーワールドカップ予選とキャリア教育	2・3
今、若者支援が熱い？！	4・5
子育てエッセイ：やまGの育G日記	6
コラム☆おすすめの本／エッセイ	7
イベント・行事案内／入会案内／編集後記	8

サッカーワールドカップ予選とキャリア教育



猛暑を超える記録的な酷暑の毎日。ただ立っているだけでも激しく体力を消耗するなか、全国高校野球 夏の選手権大会の予選が各地でおこなわれている。高校球児は甲子園という夢舞台をめざし、文字通り熱い戦いを繰り広げている。

野球もさることながら少し時間を戻し、およそ1か月前の6月4日、サッカー日本代表も国民の期待を背負い、熱い戦いを繰り広げた。

その日ライバルオーストラリアとの激闘の末2014年サッカーワールドカップブラジル大会への出場を決めた。試合内容の記憶をたどると、日本がやや押し気味に試合を進めていたが、終盤オーストラリアの選手のシュートがGK川島選手の手をかすめてゴール隅ぎりぎりに入ってしまった。

残り時間もあとわずか、大半の観戦者は「負けた！」と思ったのではないだろうか。試合前の状況は、勝たなくても引き分けでブラジルへの切符が手に入るという有利な状況だったのに……。しかし、勝負の神様は日本代表チームとそのサポーターを見捨てはしなかった。試合終了直前、日本にPK（ペナルティーキック）のチャンスが訪れた。

残り時間やその結果の重要性から相当のプレッシャーがかかる中、本田選手の左足から放たれたボールは、相手ゴールのど真ん中に突き刺さり、その瞬間、選手もサポーターも歓声と共に両手を突き上げた。

奇跡の大勝利。試合ではなくワールドカップブラジル大会への出場権獲得という目標達成の大勝利である。

翌日の新聞各紙は、サッカー日本代表のワールドカップ出場決定を大々的に報じていた。各メディアが多くの子供から喜びの声を拾おうとインタビューする中、ある青年のコメントが気にかかった。

彼いわく「半年働いて、あとの半分はサッカー日本代表チームを追いかける生活」をしているという。

同じ日の紙面に、安倍政権「骨太の方針」の素案として「社会保障支出も聖域とせず、見直しを図る」そして「生活保護の支援の在り方を早期に見直す」との方針が新たに示された。若い時、アルバイトで生計を立て、「好きなこと」に重点を置き、後は生活保護のお世話になる…とまでは考えてはいないだろうが、「今を生きる」若者思考が気にかかる。

年金支給や社会保険等、未来への保障が見えにくく、働き方が多様になってきたのも確かである。日本が世界に誇るパナソニックも劇的大赤字決算続きで、3年間で5000人の人員整理だという。切られる側か残る側か？ 社員は家族だと明言した創業者故松下幸之助氏は天国でいま何を思っているだろうか。

社会経済が停滞すると生活困窮者が増え、子どもの貧困化が進むのはまぬがれない。当協会は子どもの権利条約のもと、子どもたちが心身ともに豊かに生きられる環境づくりを事業展開しているが、子どもの貧困化により、子どものあらゆる権利が奪われてはならないと心が痛む。子どもには、幸せになる権利、自分らしく生きる権利があるのだから。

その上で大事なものは、ひとりひとりが、自分の人生をどうデザインするか、そのためには今、何をするのかを考えること。そのためには子どもが成長する過程で、考える力をつけることが大切である。当協会はその「考える力」をつける様々な機会を提供することを使命とし、各事業の充実を図っている。

当協会が実施している「ライフデザインセミナー」はまさに自分の将来を考える機会を提供する事業である。フリーターが増え始めた2000年ごろから文部科学省はキャリア教育の大切さを提言し始めた。2003年には作家の村上龍さんが「13歳のハローワーク」を発表し「好きなことを仕事に」をキーワードに、子どもたちに将来のヒントを提供した。

当協会も大阪市と共同で「若者のライフワークデザイン」を開発した。13歳のハローワーク公式サイト編集長松尾和祥氏は、『好きを仕事に、ということは嫌なことはしなくていいという意味ではない。どんな仕事にも厳しい時はある。そこで負けずに、努力を続けると仕事に楽しみが見つかる。これが「好きを仕事に」の本質であり、日々を積み重ねるという「継続力」も大事である』と言っておられた。

サッカーワールドカップブラジル大会出場権を獲得した日本代表の試合から話が広がったが、代表メンバーの誰一人をとっても、努力と継続が起源であることは確かである。子どものころから大好きだったサッカーを仕事にして、たくさんのサポーターに応援され、家族に支えられ、この上ない喜びを味わうことができる幸せは、彼らの努力と継続の結果である。

(理事長・立石美佐子)

今、若者支援が熱い？！

公益社団法人「こども環境学会」の「2012年度学会奨励賞」を受賞しました。

この度、学会奨励賞をいただいた著作は、編著者・田中治彦教授（上智大学）と萩原建次郎教授（駒澤大学）による『若者の居場所と参加—ユースワークが築く新たな社会』東洋館出版社（2012）です。

これまで子どもや若者の居場所をテーマに研究を続けてきた日本社会教育学会所属の諸先生方ならびに現場で活躍する実践者の方々とともに書き上げた1冊です。全12章からなる本著作。

私も1つの章を書かせていただきました。

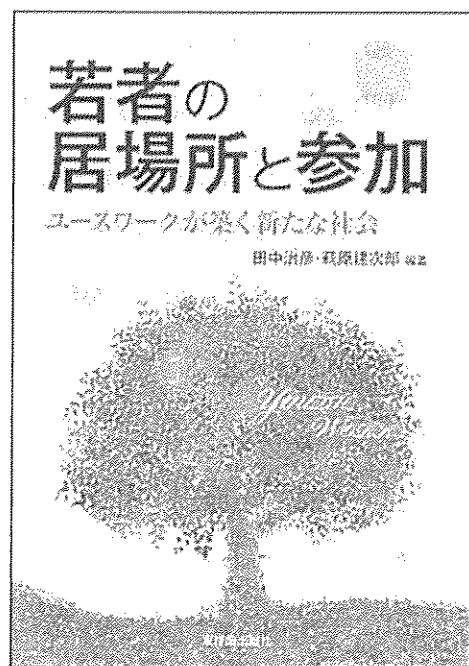


本著作に収めた私の原稿は、「第10章 市民と行政の協働による居場所づくり」です。「居場所を生み出す社会」のあり方について検討しました。具体的には、当協会が手掛ける「にこにこやの土曜塾」の実践事例を取り上げて、居場所事業に不可欠な支援のあり方（長期展望と継続実施、関係性と主体形成など）や、行政とNPOなどの市民団体が協働して地域の青少年の社会教育実践を手がける際の課題を整理しました。

本著作に対する学会審査委員の評価は次の通りです。「若者の居場所について10 余名の分担執筆者により体系的に書かれた良書である。これから居場所論を学ぶ方々にとっては有用な著書である。（略）読むほどに居場所に関する理論的構築の完成度に驚かされる。（略）居場所の提供と言う一方向的な居場所論ではなく、若者、自らが居場所を作っていくと言う積極性に重きを置き、これを強調している点は本書の学術的意義を高めている。」

（『こども環境学会研究 第9巻・第1号(通巻第24号) 』46頁より抜粋）

ご関心のある方は是非一度お手に取ってお読みください。



不登校、ひきこもり、ニート、フリーター、若年失業者などの増加と長期化が契機となって、今や日本には数多くの若者支援が誕生しています。学習支援、職場体験や社会体験、カウンセリングなど、支援の内容は多岐にわたります。

また一方で、若者の余暇活動の支援、若者による社会参画に対する支援も存在します。例えば、水月児童文化センターのように、中学生以上の若者が放課後や休日に立ち寄って仲間と集い自由に時を過ごすことができる居場所を保障すること。あるいはひと山まるごとプレイパークのように、若者に対して、若者の立場から社会づくり（子育て・子育てを共同する社会）に主体的に参加することを要請することなどがあります。

ただ、この種の若者支援は、先に述べた救済的な若者支援が増えるにつれて（重要性が社会に認められるにつれ）、その重要性が見えにくくなる傾向にあります。しかし、若者支援を考える時、何らかの生きづらさを抱えた若者に対する支援も、若者自身の自発的な活動が活発に行われるようにするための支援も、共に必要な支援と言えます。

「子ども・若者支援専門職養成研究」を始めます！

さて、このように今や日本社会に多様に存在している若者支援ですが、それらの活動に携わる人々の職種や立場、専門性をどのように考えればよいのでしょうか。何という名前の仕事なのか。どのような資格が必要なのか。もし特定の教育技術が必要だとするならば、どこでその研修を受けることができるのか。

学校で子どもの教育に携わる人々は先生（教員・教諭）です。地域社会の中で福祉的な支援を行う人々はソーシャルワーカーです。学校の教員は教育大学など4年制の大学で修学することによって教員免許状を取得し、もって学校の教員になることができます。ソーシャルワーカーも、社会福祉学を修得した上で社会福祉士の国家資格を得ることによって、高い専門的技術を持って事業に従事しています。どちらも専門職者としての社会的地位を得て仕事に従事し、社会にとって必要な職種であるという社会的承認を得ることができています。

一方で、若者支援に携わる人々の場合、学校の先生やソーシャルワーカーと異なり、若者支援者（仮称）という共通概念がなく、若者支援学といったような基盤となる学問も十分には構築されておらず、結果、養成の場も乏しく、専門資格も存在していません。

もちろん資格がなければ支援ができないわけではありません。また若者支援といっても多岐にわたります。しかし、若者支援者に共通して必要な知識・技術があるとするならば、それらを修学した上で支援にあたることは若者に利益をもたらすこととなります。そして、専門性の確立は、若者支援者の必要性が社会的に認められること（社会的地位の向上や社会的承認）につながります。

このような考えに基づいて、この度、社会教育学研究者と実践者と共同で、「子ども・若者支援専門職員養成」に関する研究に着手することになりました。今後の展開にご期待ください。

（理事・立石麻衣子）

やまの育の日記 その15 ～堅物じいじの突然変異～

長女5歳幼稚園 甘えん坊、長男1歳9か月 自由人、嫁さんサンジュウ……歳 神様。

2013年7月現在、我が家の家族構成である。息子がまだ1歳なので理解不能な行動や激しい夜泣きもあるが、娘や実家の協力もあり日々楽しく過ごせている。

そこで今更ではあるが子どもができてから、自分の親、特に父親（じいじ）が変わったと感じている。僕の父は今年で70になる元銀行員の現実主義者。誕生日は生んでくれた親に子どもが感謝する日、クリスマスは遠い遠い異国の文化、ハロウィンに至っては何じゃいそれ！？って感じ。

あれは忘れもしないクリスマスを間近に控えた5歳の冬。いつになく真剣な顔をした父から「ちょっと和室に来なさい」と呼ばれて行くと、父はおもむろに正座し目をつむりだした。

「怒られることはしてないし何かなあ？」とっていると、父は開口一番「サンタはなあ、おらん。おらんのや。」と一言告げ、のっしのっしとリビングに消えていった。サンタの所在について僕から質問した覚えはまったくないが、威風堂々たる父の後ろ姿にしばし呆然。

今思えば幼稚園の友だちとサンタやプレゼントの話で大盛り上がりの時期になんという夢のないお言葉。それでも半信半疑の中、サンタさんにプレゼントの願いを紙に書き、枕元に置いて寝たものの、翌朝その紙は1ミリも動くことなく役目を終えた。

そんな父であるが、孫ができてから実によい「じいじ」をしてきている。定年退職してから趣味で続けている木工細工でじいじオリジナルの積み木を作ってくれたり、いろんな動物や乗り物を作ってくれている。

また僕が子どものとき「これは速読なのか？」というほど高速で進む絵本の読み聞かせ、ナレーションも含めあらゆる登場人物がまったく同じトーンで話され、もはや誰のセリフかわからなかった絵本の読み聞かせが、今では娘と息子のペースに合わせてゆっくり進み、きちんと登場人物になりきって絵本を読んできている。

極めつけは娘がまだ1歳だった時のクリスマス。父から不意に「クリスマスはなんか考えてんのか？」と聞かれ、「特に考えてないよ。まだ1歳やし、サンタもクリスマスもわからんやろ。」と軽く返したら、父の顔がみるみる険しくなり、「おーい、ちゃんとしたらなかわいそうやろ！1年に1回のことやないか！」と思わず鼻水がでそうなことを言ったりする。

その1年に1回のイベントをことごとく否定してきた父が……である。

さあどこからツっこんでやろうかと思ったが、習い事にアルバイトにとやりたいことをやらせてもらい、大学まで出させてくれた父である。過去にこだわってはいけない。ゴクリと思いを飲み込み「そうやね……」と反抗するのをやめておいた。

後日、実家と兄夫婦の家族もおこなったクリスマスパーティーでは、全身サンタの衣装に身をつつみ「メリ～クリスマ～～ス！！」とクラッカーを片手に父親が現れたとき、子どもの喜ぶ姿はそっこのけで僕も兄もただただ驚くばかりであった。

今の仕事に就いて毎日子どもと接してから、「子どもの存在、可能性ってすごい！」と度々感じてきたが、自分の親の姿を見て、今改めてそれを実感している。

(理事・山路知之)

おすすめの絵本

日差しの眩しい季節となりました。子ども達には楽しいことがいっぱい。たくさん夏の思い出が作れるといいですね。夏をテーマに親子で楽しめる絵本をご紹介しますと思います。

『まんいでんしゃ』

作 わたなべしげお 絵 かとうちやこ

福音館書店

動物達が海水浴にGO! 電車は超満員。こんなにやりたい放題でいいのでしょうか。インパクトありすぎて一度見たら忘れられません。

『やぶかのはなし』

作 栗原健 絵 長新太

福音館書店 (かかくのとも)

夏に現れる嫌なヤツ。でも蚊も一生懸命なんです。蚊の生態を丁寧に描きつつも楽しませてくれます。読めば蚊にも少しは寛大になれる? ような絵本です。

『ねずみのかいすいよく』

作 山下明生 絵 いわむらかずお

ひさかたチャイルド

七つ子ねずみ家族が海水浴に。子ども達を迷子にしないためにお父さんは頭をひねります。14ひきのねずみシリーズが有名ですが七つ子シリーズもとても楽しい。大型絵本でも出版されています。

『くらくてあかるいよる』

作・絵 ジョン・ロッコ 訳 千葉茂樹

光村教育図書

電化製品に頼り個々に過ごすことの多い都会の夏の夜、突然の停電が。ろうそくの明かりに集まる家族。夜空には満点の星が。暗がりにドキドキした子どもの顔を思い出します。ほっこりする読後感も良い。

『なつのあさ』

作・絵 谷内こうた 至光社

都会の夏の夜、突然の停電が。ろうそくの明かりに集まる家族。夜空には満点の星が。暗がりにドキドキした子どもの顔を思い出します。ほっこりする読後感も良い。

たかが取っ手なれど…

昭和の初めに建てられた自泉会館という国の登録指定文化財の建物が私の住む岸和田市にあります。NHKの朝の連続ドラマ、「カーネーション」で舞踏会の場面はここで

撮影したのかと言われましたが、残念ながら、撮影に使うためには広さが足りないとい

うことで、本番は中之島公会堂の2階のホールが使われたそうです。

今度はNHKから織田作之助の「夫婦善哉」の撮影に使わせてほしいという問い合わせがありました。なのでそれなりにレトロな雰囲気漂う建物なのです。

椅子を並べたら100席ほどのホールですが、天井が高く、壁がコンクリートではなく、コルク材のようなものを使っているということで、音の響きがめっちゃくちゃ良い。ヴァイオリン弾きが自分の音に自分でうっとりしてしまうほどです。

鹿鳴館の頃の雰囲気漂うなかで、音を聞いているとほんとに贅沢な気分になります。この建物、建った頃のまんまだと思っていたら、なんと玄関はまったくちがっていたらしいのです。

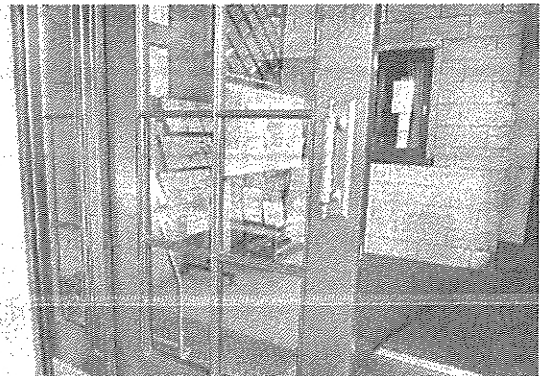
古い記録やくすんだ写真を見せてもらったら、ほんとにその面影はなく、元は美しいフォルムの鉄で飾られていました。その鉄はなんと、あの15年戦争の末期に徴収もっていかれたそうです。他にもあった鉄の飾りがなくなっているそうです。まあ、なんとばかりかかしい話だと思いませんか?

そんな被害にあっても美しく良い建物なので登録指定文化財となっていますが、なにしろ古いので、傷みが激しいし、雨漏りもします。木でできた部分は白蟻が遠慮なく住みついています。

それで岸和田市が玄関まわりをなおしてくれることになりました。指定文化財ということで、同じところに同じ設計士が建てた「大阪綿業会館」のドアの取っ手を複製してつけることになり、これがなんと十数万円だとか。

びっくりしたけど、出来たドアはやはり風格が違いました。高いからそこの似たものでまにあわせていたら、この風格はなかったでしょうね。

これぞ文化やなと感心し、見るたびに心が豊かになっています。



(会員・尾崎望)

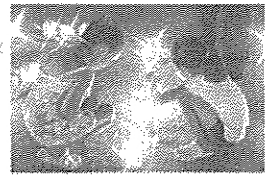
(人形劇団クラルテ・松本則子)

イベント・行事案内

第12回

いけだ夢燈花 ゆめとうか

世界の子どもたちの平和と安全を願って...



と き: 2013年 8月17日(土) 18時~20時30分 ところ: 池田市水月公園
 緑丘小学校金管クラブ/ろうそく点火/ほのあかりコンサート

※雨天時は18日(日)に順延

主催 特定非営利活動法人 北摂こども文化協会 協賛(協力) 鉢塚水月会/ダイハツ水月会/池田サラリーマンOB会 後援 池田市・池田市教育委員会
 協力 池田市立緑丘小学校/ダイハツ工業(株)/ダイハツ労働組合/備いおきべ/エテルノ池田[標準版]/(株)アイエス・エス/池田市公校活動促進協議会/ボランティアサークル"egg"

会員随時募集中!!

「もっと自分らしく」を合言葉に、北摂こども文化協会は活動しています。

年会費: ◆正会員(総会議決権あり)10,000円
 ◆賛助会員 個人 一口 3,000円
 団体 一口 5,000円
 法人 一口 10,000円

お問い合わせ・お申し込みはこちらまで

●北摂こども文化協会事務局

TEL:072-761-9245

FAX:072-761-9244

E-mail:hokusetsukodomo@wombat.zaq.ne.jp



第13期

ひと泊まるごと ツルイパーク キャンプ大募集!体験参加できます!

大自然のふとこころで思いっきり遊びほうけよう!
 自分の居場所がきっと見つかるはず...

◆活動日 : 毎月1回 日曜日 ※9月は土・日で宿泊
 ◆活動場所 : 豊能町木代の山
 ◆活動費 : ひとり12000円/年
 (年度途中参加は月割計算)
 ご家族1名 正会員登録(10000円)

ひと泊まるごと ツルイパーク 2013

9月14日(土)~15日(日)

大自然のふとこころでテント泊。
 ドラム缶風呂もあるよ!

興味のある方は、当協会「ひと山事務局」
 までお気軽にお問い合わせください!

編集後記

暑い! とにかく暑い!! 怠け者の僕は毎日これだけ暑いと身動き一つするのも億劫です。暑いのもさることながら、あまりの湿度に不快感がたまりません。今ほど猛暑ではなかったにせよ、子どもの時はどんなに太陽がカンカン照りでも外にでてボール遊びをしていたのに……。遊んだ後チューペットを半分に割って、微妙に多い方を兄と取り合った日が懐かしい。そういえば僕が小さいころ、電車(能勢電鉄)の車内はまだ扇風機だったな~という記憶があります。天井にいくつか扇風機がくっついていて、ブォーンとゆっくり回転しながら車内に風を送ってくれていました。そんな話を「懐かしいねー」と嫁さんにしたところ、「電車の中に扇風機? はあ?」 ですって。(山)